

# わんにゃん通信

させて熱を放出しているからです。

春を一気に飛び越して真夏の暑さが  
続きます。たまに早起きをして外を見てい  
ると もう5時前から 外は明るくなり  
始めているんですね。そんな日は一日がと  
ても長く感じます。

湿度が高くなると溜まった熱を  
逃すことが難しくなり熱中症にな  
る割合が高くなります。

具合が悪くなつても言葉で訴える  
「」ことができない上 日中お留守番を

している犬猫も多いはず、対処が  
遅れれば命を落としかねない怖い  
病気です。

## 熱中症と暑さ対策



晴天の日は 真夏を感じる気温になつてい  
ます。体毛で覆われている犬 猫にとって  
は過酷な季節です。

暑さの厳しい7月や8月だけでなく 湿度

の高い5月、6月がより注意が必要です。

**犬猫には汗腺がほとんどないので**  
人のように汗をかいて体温調節を  
する」ことが出来ません。犬が舌を出

して「ハア、ハア、ハア」  
とやっているのは唾液を蒸発さ  
んばつて乗り切つていきましょう。

（対策 处置法は裏に続く）

# 熱中症

**症状** 急激に体温上昇がするため苦しそうに開口呼吸をしたり 多量のよだれを出したりします。そのまま時間が経過すると血液混じりの下痢や吐き気 痉攣を引き起<sup>こ</sup>し 血圧の低下が起<sup>こ</sup>り呼吸器不全に陥ります。シヨツク症状や意識が低下していくと最悪の場合死に至<sup>つ</sup>てしまつ<sup>つ</sup>ともあります。ジメジメした暑い日にそのような症状が見られたら 部屋の喚起を良くして水をかけるなど とりあえずの処置をしましよう。一刻を争う<sup>う</sup>ともありますので 病院に搬送する前の処置が重要になると聞えます。

# 暑さ対策

外で飼育している犬の問題は直射日光です。一日至る方向から日<sup>ひ</sup>が射してきます。犬小屋は日<sup>ひ</sup>は避けますが熱がこもりやすいので 近くにヨシズを立てかけて日<sup>ひ</sup>陰を作<sup>つ</sup>てあげましょう。コンクリートや土の上は熱を溜め込みやすいので 日<sup>ひ</sup>陰の下にすの<sup>の</sup>を置いておくと身体の下の風通しもいいでしょう。移動できるだけのリードの長さの確保も忘れずに。

室内飼育の場合は窓を開けるなど換気が重要です 弱めに冷房を入れておくか クールマットの使用 涼しい部屋へ自由に移動できるようドアの開放も忘れずに。

## 健康診断キャンペーン中

待合室でもポスターでお知らせしていますが フィラリアの採血と一緒に血液の健康診断を受けてみませんか？ なんとなく健康面が気になっているならお手軽な価格で炎症系の検査と内臓系の検査が行えます。 この機会をどうぞご利用ください。

